

日立医療圏の救急医療体制における課題に関するアンケート〈結果〉

1. 概要

日立医療圏の救急医療体制について、3市消防本部へアンケート調査を実施。

2. 結果

日立医療圏における救急医療体制について優先度の高い課題は何か、あてはまる項目を選択
(複数選択可)

- (●●) 軽症での搬送
- (●●) 夜間・休日の受入れ体制
- (●) 輪番制の機能
- (●) 初期救急医療機関、二次救急医療機関、三次救急医療機関の役割分担
- (●) 近隣医療圏との広域連携
- (—) ICTを活用した搬送システムの構築
- (—) 収容までの所要時間
- (—) かかりつけ医での診療情報が分からない
- (—) 住民への啓発普及(救急医療の適正利用、こども・おとな救急電話相談等)
- (—) その他
- (—) 特に課題はない

(●) …選択あり (—) …選択なし

課題解決に向けた意見(自由記載)

- ・夜間では医療機関のスタッフ不足により、かかりつけにもかかわらず収容不能の場合がある。(消防側で解決することは困難)
現在は、医療機関から頂いた医師日当直表を病院選定時に役立てている。
- ・軽症患者による救急車の不適正利用が減少するように、適正利用の啓発活動を継続的に実施するとともに、市民に対しての広報活動に力を入れる。
- ・関係機関との連携を密にすることで、休日・夜間帯の救急搬送受入れを円滑に行うよう働きかけをしていく。
- ・かかりつけ医制度を推進し、軽症者については、かかりつけ医もしくは一次医療機関への収容、中等症・重症者は、二次・三次医療機関へ適切に収容するよう目指す。